



大崎小学校創立150周年 歴史と伝統を胸に更なる未来へ

大崎小学校の校訓

徳 あかるく
知 かしこく
体 たくましく

令和2年4月、大崎町立大崎小学校は、創立150周年を迎えました。

明治3年に「大崎郷校」として誕生した大崎小学校は、明治20年に「大崎尋常高等小学校」、昭和16年に「大崎国民学校」と時代とともに名称が変わり、昭和22年には学校教育法で義務教育が「6・3制（小学校6年・中学校3年）」と定められ、同年に現在の「大崎小学校」となりました。

現在、大崎小学校に在籍する児童は301名と減少傾向にあります。昭和37年には1463名が在籍していました。「明治・大正・昭和・平成・令和」という5つの時代を大崎地区の子どもたちとともに過ごしてきた大崎小学校からは、総勢1万4千5百人を超える子どもたちが卒業しています。

そんな歴史と伝統ある大崎小学校で創立150周年を迎えるにあたり、「創立150周年記念事業実行委員会」が組織され、様々なイベントや記念式典が行われました。

今月号では、大崎小学校の変遷と昔の写真で歴史を振り返りながら、創立150周年記念式典を特集したいと思います。